

槌屋 史子

神戸大学大学院 国際協力研究科 修士課程2年

日比間における高齢者介護のあり方に関する研究

- 日本人高齢者のフィリピン移住と介護を事例として

本論文は、フィリピンにおける日本人退職者施設を事例に日本人高齢者による医療介護サービスを伴った海外移住の一形態を考察している。昨今、高齢化が加速する日本では高齢者を取り巻く経済的、社会的環境が大きな変化を続け、高齢者もそれらに対応した生活の変化が求められるようになってきている。

そのようなことから、最近では日本国内でも「介護移住」という言葉が広まり、高齢者が十分なサービスを受けることのできるリタイアメントの地を自ら選び、移動する傾向も見られる。それは国内だけに留まらず、年金で十分に暮らしていける海外へと求める傾向も徐々にではあるが出てきており、その目的地の一つとして昨今フィリピンが挙げられている。このような背景から、本稿では現地での綿密なインタビューから分析を行い、誰が、なぜフィリピンへ移動し、どのように過ごすのかという3点を明らかにする。